

令和3年度予算

※表示単位未満をそれぞれ四捨五入しているため、合計は総額と一致しない場合があります。

問 財政課 ☎ 65-6506

一般会計予算額

518億円(前年度比3.5%減)

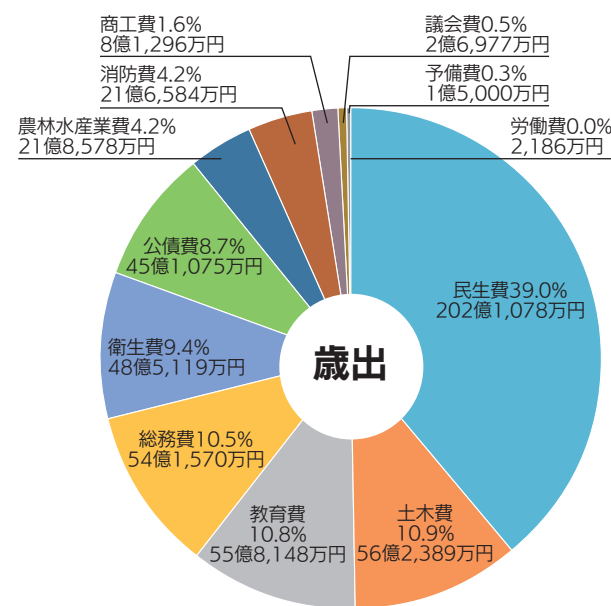
特別会計予算額

258億4,500万円(前年度比0.8%増)

企業会計予算額

277億1,883万円(前年度比8.2%減)

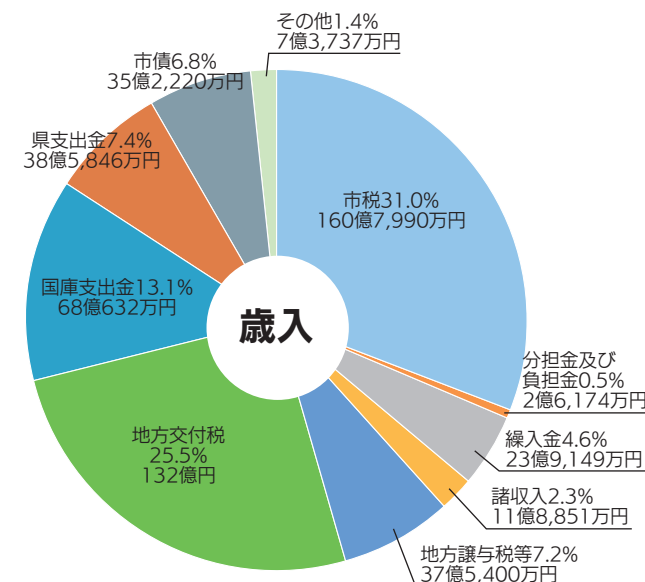
一般会計【歳入・歳出の内訳】



歳出のポイント

衛生費は、湖北広域行政事務センターの斎場整備負担金が減少したことにより31.8%減となりました。また公債費は、繰上償還金が減少し13.1%減となりました。

一方、土木費は市営住宅の整備事業費等が増加するため8.8%増。教育費は、長浜伊香ツインアリーナの第2期整備事業費等により9.3%増。また、予備費は予期せぬ財政需要に備えるため200%増となりました。



歳入のポイント

市税は、新型コロナウイルス感染症の影響による所得等の減少に伴う個人市民税の減収や固定資産税の減収から前年度比3.1%減。地方交付税は、国勢調査人口の減少等により2.2%減、国庫支出金は市営住宅の整備等により4.3%増となりました。

また、市債は湖北広域行政事務センターの斎場整備に対する負担金の減少等により29%減となりました。

一般会計予算のポイント

令和3年度当初予算では、市民の皆さんが、毎日安心して暮らせるよう、新型コロナウイルス感染症から市民生活を守る対策をとりつつ、新しい社会に対応するための変革を進める「**日常の安心＆新たな日常の創造予算**」を編成しました。

①日常の安心・くらし経済支援

地域で安心して医療が受けられる「医療体制」の充実や、地域で支えあう「地域共生社会」に向けた仕組みづくり、安心して子どもを育て「子育て支援」や「防災防犯」体制の強化のほか、「就労・起業」の支援や地域の「活力創出」など、様々な課題に、きめ細やかに取り組めます。

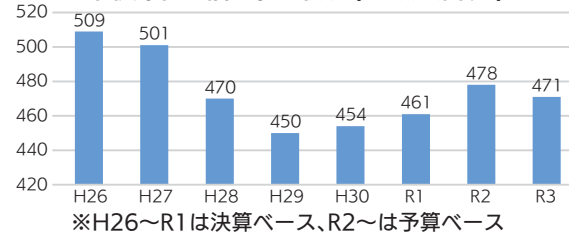
②未来への変革・新たな日常創造

「行政デジタル化」と「民間活力の導入」を推進することで、市の業務の効率性を高め、市民サービスの向上を図ります。また、移住支援体制の整備に加え、新たな観光スタイルでの交流やリモートワークを行う企業・人材の誘致を図る「移住交流を推進し、長浜

◆市債残高は4年振りに減少

大型建設事業により平成30年度以降増加傾向でしたが、計画的な繰上償還や令和3年度借入予定額の減少により**7億円(1.4%)減**。今後も市債残高を抑制しながら、投資的事業の推進と財政の健全化を両立していきます。

市債(市の借金)の状況(一般会計分)



新型コロナウイルス感染症対策

※令和2年度に予算化し、引き続き取り組む事業
ワクチン接種をはじめ、各施設や病院、学校での衛生対策により、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るほか、感染症の影響から、市民生活や産業を守る取り組みを行います。

市が培ってきた暮らしの文化や生業に新たな視点を加えることで、ビジネスの創出、文化・経済活動の活性化による地域づくりをめざします。

長浜家(市)の家計簿 ～年収400万円の家計に例えてみました～

収入・支出項目(実際の項目)	収入の部	支出の部	前年との増減
給与(市税や地方交付税など)	400万円		±0
その他雑収入(施設の利用率や繰入金など)	52万円		-6万円
親からの仕送り(国や県からの支出金)	121万円		+2万円
生活費(人件費や委託料、補助金など)		294万円	-19万円
医療費(福祉関係にかかるお金)		129万円	-3万円
自宅の修理費(道路や学校などの修繕費)		3万円	-1万円
自宅の増築(道路や学校などの建築事業費)		42万円	+2万円
子どもへの仕送り(特別会計に支出するお金など)		57万円	-1万円
借金の返済(市債の元金や利子の支払い)		51万円	-9万円
貯金(基金に積み立てるお金)		1万円	±0
その他(予備費など)		12万円	+2万円
小計	573万円	589万円	
収入不足の補填			
借金(市債)	16万円		-25万円
合計	589万円	589万円	

資産状況	金額	前年との増減
貯金残高	359万円	+17万円
借金残高	536万円	-6万円

表を見ると、生活費や医療費など、必ず支払わなければならないものへの出費が多いことが分かります。家計でいうと、自由に使えるお金が少なく、節約が厳しい状況といえます。

このような中、家計を健全に維持するために、支出を抑えたり、将来の暮らしのために借金を計画的に返

済しながら、バランスを堅持しています。また、収入に見合った支出にするため家計簿の規模を縮小し、健全性を堅持しています。今後も、先を見据えて必要なことに取り組めるよう、引き続いてお金のやりくりにも力を入れていきます。